

## 74 センター病院患者および自立支援局利用者等に対する東洋療法の活動報告

理療教育・就労支援部理療教育課

加藤 麦、池田和久、小泉 貴、高橋忠庸  
杉本龍亮、中西初男、柴田均一

### 【はじめに】

平成 22 年度より理療教育課では東洋療法推進系の業務として、医師からの紹介・依頼・許可のあった患者を対象に教官による臨床施術を開始した。そこで今回は 22 年度から現在までの活動について概況を報告する。

### 【施術対象者と施術体制】（別紙、図 1 参照）

施術対象者は、①当センター病院入院および外来通院患者のうち担当医より紹介または許可のあった者、②当センター病院以外の医療機関から紹介があった者、③自立支援局利用者（理療教育を除く）で担当医の許可のあった者とした。施術種別はあん摩、鍼灸、あん摩・鍼灸の 3 つであり、完全予約制とし、施術料は 1 回 800 円、施術時間は約 45 分、週 1 回の施術を原則としている。また、すべての患者に対する共通評価として、主訴、食生活、睡眠、排便・排尿、ストレスの 5 項目について VAS で毎回、施術前評価を実施している。

### 【実施状況】（別紙、表 1・2・3 参照）

22 年度は病棟入院患者 2 名、自立支援局利用者 1 名の計 3 名であった。延べ施術人数は 17 名であり、施術種別はマッサージ施術 8 名、鍼灸施術 9 名であった。23 年度は病棟入院患者 1 名、医師からの依頼・紹介患者 3 名（当センター病院外来患者 1 名、外部医療機関 2 名）、自立支援局利用者 5 名の計 9 名であった。延べ施術人数は 88 名であり、施術種別はマッサージ施術 28 名、鍼灸施術 60 名であった。また、相談対応したが施術まで至らなかった方が 2 名あった。24 年度（11 月 9 日現在）は医師からの紹介患者 6 名（当センター病院外来患者 4 名、外部医療機関 2 名）、自立支援局利用者 6 名の計 12 名であった。延べ施術人数は 150 名であり、施術種別はマッサージ施術 91 名、鍼灸施術 59 名であった。

### 【課題】

これまでの施術データの蓄積と分析による東洋療法の効果を検証する必要がある。特に障害者特有の愁訴に対する東洋療法の可能性を探ることの意義は大きい。そのためには客観的評価を中心とした施術効果の評価を検討する必要がある、特に頸髄損傷患者では施術による直後効果と持続効果を分けて評価することの重要性が明らかになった。もう一つの課題は、患者数の増加に対応できる態勢作りであり、施術スタッフの増員と施術時間の確保が急務である。

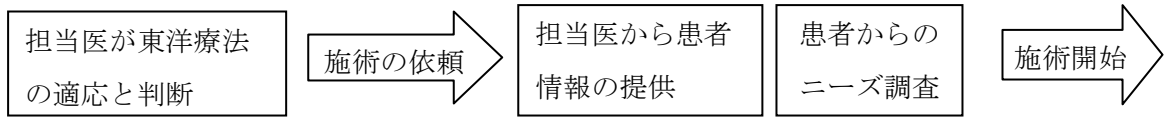
### 【おわりに】

これまで順調に患者数を増やすことができたが、病棟入院患者に対する施術数は増加していない。当センター病院をはじめとする医療機関との連携を図りながら、障害のある患者に対する東洋療法を実践することで有効性を明らかにし、障害者リハビリテーションにおける東洋療法の可能性の追求を目指していきたい。

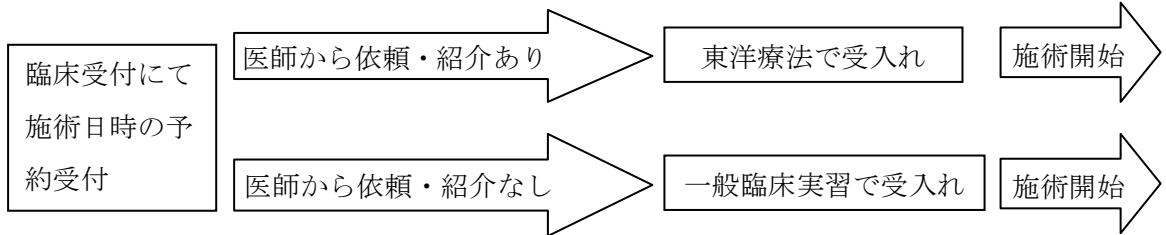
別紙

図1 受入れ手順

1. 当センター病院入院患者



2. 医師からの依頼・紹介患者



3. 自立支援局利用者

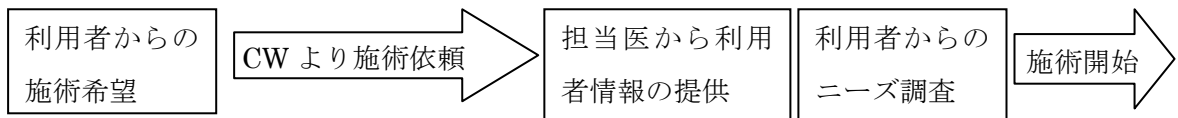


表1 年度別患者数

	センター病院 (入院)	センター病院 (外来)	外部医療機関	利用者	計
22年度	2名	0名	0名	1名	3名
23年度	1名	1名	2名	5名	9名
24年度	0名	4名	2名	6名	12名

表2 年度別延べ施術人数

	センター病院 (入院)	センター病院 (外来)	外部医療機関	利用者	計
22年度	14名	0名	0名	3名	17名
23年度	2名	10名	28名	48名	88名
24年度	0名	41名	33名	76名	150名

表3 基礎疾患と主訴 (H22.4.1~H24.11.9)

紹介・依頼元	基礎疾患	主訴	施術 種別	施術 回数
2階病棟	頸髄損傷 (C5 不全)、脳血管障害、 腰部椎間板ヘルニア、糖尿病	上下肢筋疲労、坐骨神経痛など	マ鍼	12
4階病棟 (計2回)	頸髄損傷 (C4 完全)	頸肩部痛、肩こり	マ	4
精神科外来	脳炎による高次脳機能障害	肩こり、手関節部のこり	鍼	11
整形外科外来	腰椎圧迫骨折 (L2)	腰背部痛、頸肩部のこりなど	鍼灸	23
整形外科外来	脊髄梗塞	上肢痛、胸部痛、殿部痛など	鍼	7
整形外科外来	変形性股関節症、糖尿病	腰下肢痛	鍼	7
整形外科外来	変形性頸椎症、緊張型頭痛	頭痛、頸肩部痛、腰痛など	鍼	5
狭山神経内科病院 神経内科	クーゲルベルグ・ヴェランダー病	倦怠感、腰痛、歩行困難など	鍼	35
国立精神・神経医療研究 センター病院 神経内科	球麻痺型筋萎縮性側索硬化症	嚥下障害、構音障害、頸肩部の疲労感など	鍼灸	11
防衛医科大学校病院 第一内科	膠原病	肩背部痛、腰痛など	マ	13
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 完全)	四肢・体幹の灼熱感	鍼	3
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 完全)	右肩から上腕部の痛み	鍼灸	25
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 完全)	肩こり	マ	19
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 完全)	頸肩腕痛	マ	1
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C5 不全)	肩から上腕部のこり	マ	1
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 完全)	背部痛	マ	5
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C5 不全)	頸肩部のこり	マ	16
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 完全)	肩こり	マ	12
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C8 完全)	頸肩腕痛	マ	13
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C5 不全)	頸肩部のこり	マ	4
自立訓練利用者	頸髄損傷 (C6 不全)	肩背部のこり	マ	6

平均年齢：49.3±15.9歳 (±SD)、男性14名、女性7名

\*マ：マッサージ施術